

⚠ 警告 ご使用前に必ずお読みください。

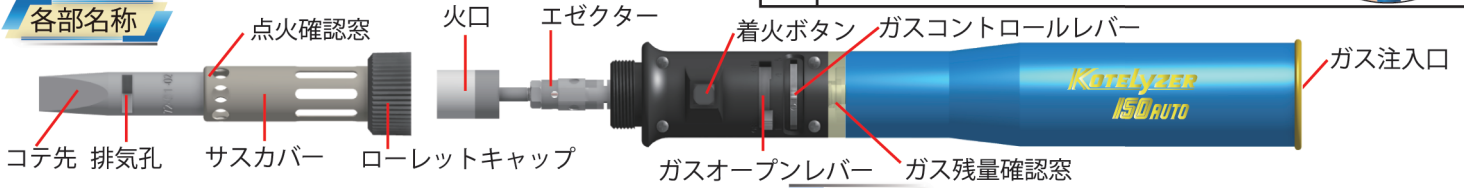
このたびはコテライザー 150 オートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 本品はボタンガスを使用した熱器具です。怪我や事故を防止するため
 ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
 また、「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。

ご使用前に

本体のガス残量確認窓（透明部分）を見て、
 液化ガスが入っている事を確認してください。
 少ない場合は、専用のガス（品番：70-59、70-60）
 を図のように注入してください。
 ※注入時、ガスが漏れる場合があります。
 ガスが皮膚に付着した際、凍傷の恐れがあります。



各部名称



⚠ ご使用上の注意

- ① ガス注入は火気のある所では行わないでください。
- ② 換気の悪い場所では、使用しないでください。
- ③ 電気コテ用の筒型コテ置き台を使用しないでください。
 熱がこもり、本体を焦がし火災の原因となります。
- ④ あやまって落としたり、ぶつけたりして強いショックを与えた場合は
 製造元サービスセンターにご相談ください。
- ⑤ 燃料には必ず当社の純正ガス（工業用無臭液化石油ガス）を使用してください。
- ⑥ 作業の中断・ガスの注入時・使用後はガスオープンレバーを OFF にして、
 確実にガスを止めてください。
- ⑦ 使用中に燃焼部分や高温金具等に手や身体を触れないでください。
- ⑧ 分解や改造をしたり、当社以外の部品を装着しないでください。
- ⑨ アルコールやアルコールベースのクリーナーで本体を拭かないでください。


⚠ 保管上の注意

- ① 40℃以上の所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ② 車中の保管、特にフロントガラス等の窓付近、及びトランクルーム内での保管は
 おやめください。ガス圧が高くなり火災・爆発の原因となります。
- ③ 幼児の手の届かない所に保管してください。
- ④ コテ先及びホットブローが冷えた事を確認して収納してください。
- ⑤ 使用後はガスコントロールレバーを右端（最大）で保管してください。
 （内部部品への負荷を軽減するためです。）

着火方法

- ① 排気孔を着火ボタンと同一の向きにしてください。
 - ② ガスコントロールレバーを 3 の位置にします。
 ただしガスの性質上、
● 気温が約 25℃以上の時（ガス吐出の勢が増す）
 ガスコントロールレバーを 3 から左側に動かして調整してください。
○ 気温が約 15℃以下の時、またはガス注入直後（ガスが気化しにくい）
 ガスコントロールレバーを 3 から右側に動かして調整してください。
 - ③ ガスオープンレバーを ON の位置にします。
- 
- ④ 着火ボタンをゆっくり押し、押しきったままにしてください。
 数秒後に点火確認窓が赤くなり触媒反応のみとなります。
排気孔からは熱風が出ますので身体や物が触れないように注意してください。
- 
- ⑤ 点火確認窓が赤くなったら、着火ボタンから指をゆっくり離してください。
 ※着火しなかった場合は再度、着火ボタンを押してください。
 - ⑥ コテ先・ホットブローを外した状態で着火ボタンを空打ち（空打ち）しないでください。
 （圧電ユニットの寿命に影響をあたえ、着火不良の原因となります。）
 - ⑦ コテ先の温度はガスコントロールレバーで調整します。
 - ⑧ ご使用後は必ずガスオープンレバーを OFF の位置にして、
 点火確認窓で消火を確認してください。
 ※ガスコントロールレバーではガスは止まりません。

コテ先の交換方法

- ① ローレットキャップを反時計回りにまわって取り外します。
- 
- ② 新しいコテ先やホットブローに交換してローレットキャップを時計回りにまわって
 装着します。

ホットブローとして使う場合

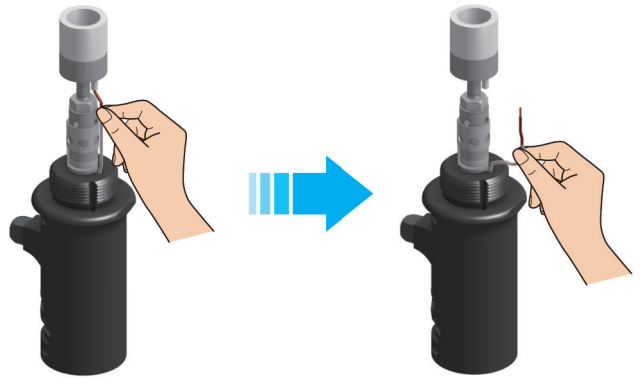
コテ先を外して、ホットブローチップを取り付けると熱風器になります。
 操作方は半田コテと同じです。
注意：先端から熱風が出るので身体や物が触れないように注意してください。

火口・エゼクターの交換方法

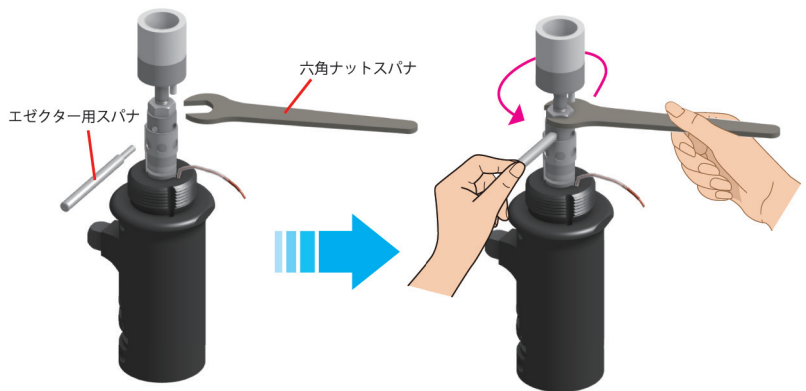
ガスが詰まった場合やセラミックが破損した場合はエゼクターユニットを交換します。

【取り外し方法】

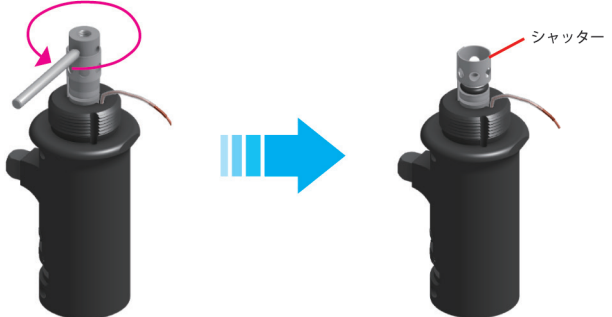
- ① ローレットキャップを緩ませて、サスカバーとコテ先を外します。
- ② 本体背面のリード線を指で摘み、ゆっくりと下方向に引いて火口から外します。



- ③ 付属品のエゼクター用スパナ（品番：70-35）の先端をエゼクターの穴に差し込み、
 エゼクターが動かないように固定しながら、六角ナットスパナ（品番：80-40）で
 火口のナットを反時計回りにまわって緩めます。

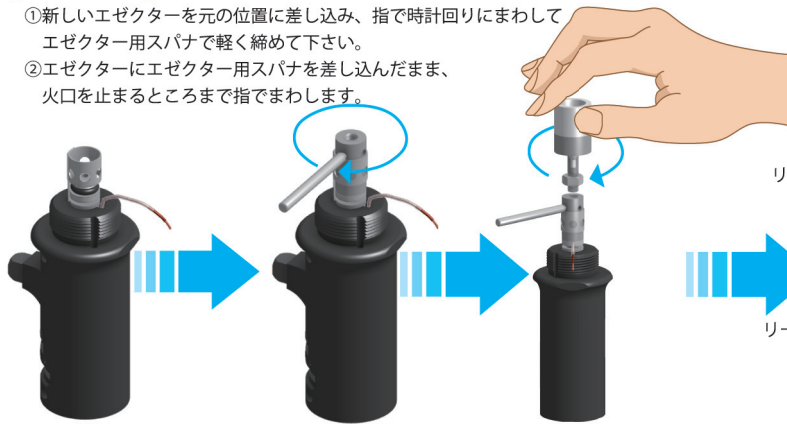


- ④ 緩めた火口を指でまわして外したら、エゼクター用スパナを反時計回りにまわして、
 エゼクターを外します。
※エゼクターを外す際に、シャッターを曲げないように気をつけてください。

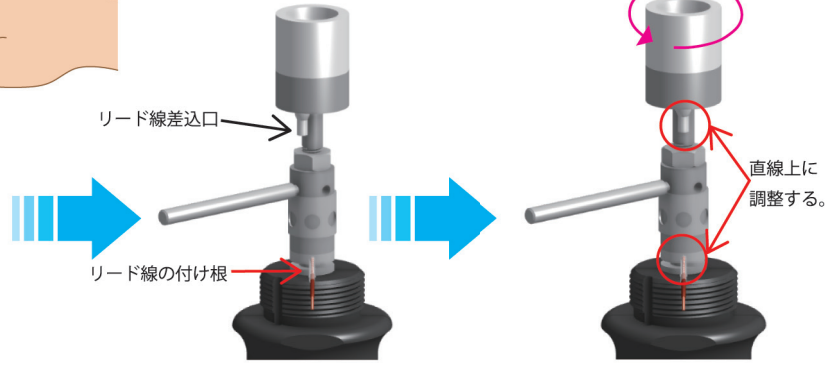


組付け方法

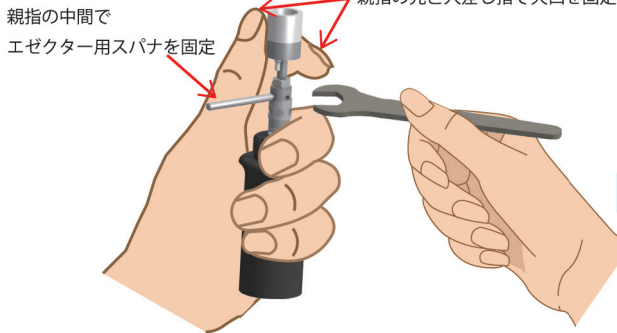
- ①新しいエゼクターを元の位置に差し込み、指で時計回りにまわしてエゼクター用スパナで軽く締めて下さい。
- ②エゼクターにエゼクター用スパナを差し込んだまま、火口を止まるところまで指でまわします。



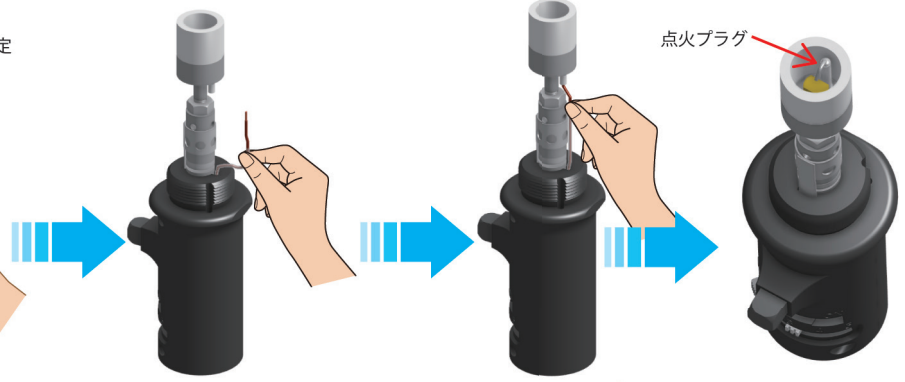
- ③火口を指で反時計回りにまわして下の右区のようにリード線の付け根部分と火口側の配線差込口が直線になる様に位置を調整します。



- ④親指の中間位置にエゼクター用スパナを当ててエゼクターが時計回りにまわらないようにしながら、親指と人差し指で火口を掴み固定します。
- ⑤逆側の手で六角ナットスパナでナットを締めます。



- ⑥リード線を火口の差込口に挿入します。
- ⑦着火ボタンを数回押して点火プラグから火花が出ることを確認してください。

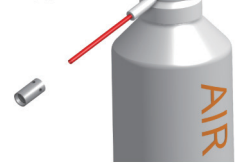


「故障かな？」と思ったら

状態	原因	処理
着火しない。	①ガスが入っていない。 ②ガスの吐出量が少なすぎる、または多すぎる。 ③エゼクターユニットの破損・異物の詰り、又は寿命。 ④着火ボタンを早く押しすぎ、又は早く離しすぎ。 ⑤点火プラグの寿命。	①ガスを注入してください。 ②ガスの吐出量を調整してください。 ③新しいエゼクターユニットと交換してください。 ④本書『着火方法』をもう一度お読みください。 ⑤新しい火口ユニットと交換してください。
炎が消えない。	①着火ボタンを離してもゴーという音がしているときは炎が消えていないときです。	①もう一度着火ボタンをゆっくりと押して、ゆっくりと離してください。
着火するが触媒が反応しない、または温度が上がらない。	①ガスの吐出量が少なすぎる、または多すぎる。 ②エゼクターユニットの寿命 ③触媒の寿命。	①ガスの吐出量を調整してください。 ②新しいエゼクターユニットと交換してください。 ③新しいコテ先またはホットブローと交換してください。



- ①エゼクターユニットの清掃
コンプレッサーのエアガンや清掃用のダストスプレーでエゼクターユニットの上側から噴くとつまりが改善される場合もあります。



- ②適正な作業環境温度（気温）
ガスは気温で圧力が変動するため、猛暑日や真冬日の時は使用できない場合があります。
ノーマルガス使用時：約 10 ～ 35℃
冬季用ガス使用時：約 5 ～ 20℃



オプションパーツ

半田コテ先

72-01-01 72-01-02 72-01-03 72-01-05 72-01-06

72-01-07 72-01-11 72-01-12 72-01-13 72-01-14

ホットブロー

72-01-51 72-01-52 72-01-53

その他

ヒートシュリンク 72-02 (保護キャップ) 72-03 (サスカバー) 82-04U (火口ユニット)

72-01-54(大) 72-01-55(小)

82-07U (エゼクターユニット) 72-14 (ローレットキャップ) 専用ガス (70-59 (150g), 70-60 (270g)) 専用ガス (70-61 (270g))

製造元
製品仕様・修理のお問い合わせ

中島銅工株式会社 NAKAJIMA
サービスセンター

〒355-0225 埼玉県比企郡嵐山町鎌形 683
Tel : 0493-62-7295 Fax : 0493-62-3895
(平日 10 : 00 ~ 17:00 土日祝祭日を除く)

ホームページ オンラインショップ
https://nakajimadoko-co-jp.prm-ssl.jp

中島銅工 検索